

社長と後継者のための組合内経営大学(リタネッツ・ユニバーシティ)開校中！

リタネッツでは現在、リタネッツ・ユニバーシティ(経営者課程)を開校中(全6回／H30.6.20～H30.9.26)です。講座では異業種の経営者・後継者が集い、自社の経営を振り返る時間として、そして、社外取締役として今までにない発想で意見交換を行う「場」として機能しています。

◆ 忙しい社長が一旦、「立ち止まって」自社の経営を考える時間

日頃、目の前にやってくる業務に追われ、経営のことを考えなければならないのに「重要だけど緊急ではない」という理由で後回しになっていませんか？

経営活動の中で『何かしっくりこない…』と悶々とした感情があるけれど、なかなか手立てを講じることができない社長が一旦、立ち止まって後継者・経営幹部とともに経営について考える時間にしています。きっと、この場が「白紙の用紙とペンだけを持って考える贅沢な時間」になると期待しています。



◆ 会社の考えを「見える化」する→(従業員にがんばりの方向性を示す)

「あの伸びている会社と同じようにQCサークル活動(小集団活動)や飲み会を実施しているのになかなか会社の雰囲気は良くなりません…」という社長の声をお聴きします。いま、多くの中小企業では小集団活動など、経営の取り組みを行っていますが、なぜ伸びている会社のように巧く行かないのでしょうか？それはベンチマークをした会社の「目に見える部分」だけを真似しているからではないか、と考えています。

本講座(経営者課程)では、企業活動の目に見える部分だけでなく、「目に見えない部分」との相互補完関係を重視し、それを模索する「場」にしています。具体的には「自己覚知」経営のフレームワークを活用した経営の見える化を行います。現在、行っている自社の取り組みを<5つの要素>に分類し、その目的を明確にして要素間(取り組み)の繋がり(相互補完)を密にする手法です。

せっかく、従業員が頑張っているのに成果が出ないのは残念な状況です。会社が「頑張りの方向性」をしっかりと示すことで従業員の思いと活動が成果に向かう取り組みになることを期待しています。

中小企業・小規模事業者の「生産性革命」を強力に推進中！

平成29年12月8日に閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」によると、安倍内閣の経済政策の最大の柱は「人づくり革命」で安倍内閣が目指す一億総活躍社会を作り上げる上での本丸となっています。また、もう一方の柱は「生産性革命」で力強い賃金アップと設備投資を後押しするため、2020年度までの3年間で集中投資期間と位置付けています。

◆ 「生産性革命」 2020年度まで特に力を入れる3つの補助金・優遇税制

「新しい経済政策パッケージ」では中小企業・小規模事業者の設備投資や賃上げを力強く推進するため、①ものづくり・商業・サービス補助金、②生産性向上に必要なIT・クラウド導入(IT導入補助金)、③事業承継の集中支援の3つの施策が2020年までの3年間、集中的・継続的に実施される見込みとなりました。

組合員の皆様におかれましては、最新設備の導入やIT・システム導入など身近な設備投資や、事業承継といった喫緊の課題が“集中”の対象になっていますので、情報には敏感にアンテナを張って頂ければと思います。

◆ 「補助額50万円」 IT導入補助金の三次公募が、もうすぐ始まります！

IT導入補助金は、顧客管理システム・在庫管理システムなど、中小企業の現場で必要とされるITツールが対象(対象のITツールはIT導入補助金-専用HPを参照下さい)となっています。今後3年間で100万社のITツールの導入促進を目指しており、今年2回実施された公募でも高い採択率となっています。

業務効率、売上upのためにITツールの導入を予定する際は是非、押さえておきたい補助金です。補助上限は50万円(下限は15万円)で補助率は1/2以内(例えば、80万円のITツールの導入の場合は、補助額は40万円)となっています。なお、三次公募は9月上旬に開始される予定です。

詳細についてはリタネッツ事務局までお問い合わせ下さい。



「社員には、業務改善を上げよう」と
「生産性の向上を上げよう」と
「言葉の力、何をしたらいいか」と
「具体的な行動をいってほしい」と
「分らないでいた」と
「たその日報ではなかった。」

リタネッツ事業協同組合共催 第6回 中小企業の働き方改革セミナー

採用力・
定着率UP

人財育成
スピードUP

生産性・
業績UP

業務改善・生産性向上を促進する
クラウド型日報「そんごくう」

あしたのチーム「ゼットイ評価！」
人事評価制度

「今、話題のあしたのチーム
人事評価の納得性を高めて
くられた。」
「その日報ではなかった。」
「分らないでいた」と
「たその日報ではなかった。」

テーマ1：【生産性を劇的に向上させるクラウド型日報「そんごくう」】

・社長がその場にいないとしても、遠く離れた場所に社員がいたとしても、社員が今、どんなことを考えて何をしているかわかる。・日報はただその日にやったことを報告する道具ではない。社長が社員にやってほしいこと、考えてほしいことを入れる。日報を通じて、社員を仕事ができる人財に変える。・社内コミュニケーションが良くないと、ミス、トラブルが絶えず、非効率な職場は社員の居心地を悪くして、重い空気が蔓延し、定着率を下げる。・日報の作り方を工夫し、クラウドシステムを活用すると、社内のコミュニケーション力がアップし、社内のさまざまな業務管理も改善され生産性が向上する。

開催要項

◆平成30年9月21日(金)

【時間】13:30～16:30
【会場】大宮ソニックシティ
【参加費】3,000円(税込)

【講師】

社会保険労務士法人CWM総研
副代表 吉川 ゆみ
経営学修士、あしたのチーム給与コンサルタント
中小企業の経営革新を「コンシェルジュ」的な位置づけでサポート。直近では人財育成・業績向上システムとしての人事評価制度の普及に力を入れている。

株式会社アイトカム
代表取締役 諏訪部 彩
応用情報技術者、テクニカルエンジニア(ネットワーク)
Excel等の普段の業務で使用するソフトを活用した、中小企業でも取り組めるIT活用業務効率化支援を得意とする。

テーマ2：【人財育成を促し業績向上を目指す「人事評価制度」】

・人事評価制度は、ただ給与をきめるための仕組みではない。・社長と社員の頑張る方向を一致させ、社員の成長の道筋を示すもの。・人事評価制度のない会社には、社員は将来の希望を見いだせない。それが採用や定着に影響を及ぼす。人事評価制度構築は、人材確保の近道。・人事評価制度を軸にして、管理職は部下と毎月面談を行い部下を育成する。・会社の成長、業務の変化によって人事評価制度も進化させる。制度の形骸化防止。・人事評価表、紙やエクセルの運用では限界がくる。制度の運用を楽にするクラウドシステム、あしたのチームの「ゼットイ評価!」とは。

お申込み・お問合せ

社会保険労務士法人CWM総研
さいたま市北区盆栽町113ガーデンビューハウス205号
TEL: 048-871-9868
担当: 三浦、大塚

FAX: 048-871-9869

申込欄			
会社名			
役職		氏名	
住所			
TEL		Mail	